

平成22年（行コ）第300号事件

控訴人 藤 永 知 子ほか18名

被控訴人 埼玉県知事ほか4名

証 拠 説 明 書 (甲B第188号証～191号証)

2013（平成25）年7月16日

東京高等裁判所24民事部ロS係 御中

控訴人ら訴訟代理人

弁護士 佐々木 新一

同 野 本 夏 生

ほか

号証番号	標 目 (原本・写しの別)	作成年月日	作 成 者
甲B第188号証	新聞記事	写 2013年1 し 月6日	東京新聞
立 証 趣 旨			

<p>建設省が設置した治水調査会・利根川委員会等の議事録が新たに公表されたこと、その中には、基本高水流量1万7000?/秒という数値が十分な議論が尽くされずに採用されたことや、より少ない数値の案が突然消えてしまったこと等が記されていること等。</p>	
---	--

号証番号	標 目 (原本・写しの別)	作成年月日	作 成 者
甲B第189号証	新聞記事	写 2013年1 し 月10日	東京新聞
立 証 趣 旨			
甲B188と同じ。			

号証番号	標 目 (原本・写しの別)	作成年月日	作 成 者
甲B第190号証	利根川改修計画資料V	写 昭和32年3 し 月30日	建設省
立 証 趣 旨			
利根川調査会・利根川小委員会の議事録、同小委員会の報告書、利根川委員会の議事録等が掲載されている。決定された八斗島地点における基本高水推量には科学的な根拠がないこと等。			

号証番号	標 目 (原本・写しの別)	作成年月日	作 成 者

甲B第191号証	カスリーン台風実績流量に関する意見書	写し	2013年2月21日	新潟大学名誉教授・大熊孝、 拓殖大学准教授・関良基
立 証 趣 旨				
<p>利根川小委員会・利根川委員会の議事録には、八斗島地点上流部での氾濫による洪水流量減少についての記述がないこと、同委員会では議論の経過が不明瞭なまま、八斗島地点の基本高水推量が決定されたこと等。</p>				

以 上